

行先掲示板 Client ツール設定手順と使用方法

研究企画部 内野 剛

下記説明の `whereabouts_client_x_x_x` の `x` は全て数字になります。

<設定手順>

1. [ここよりダウンロード](#)

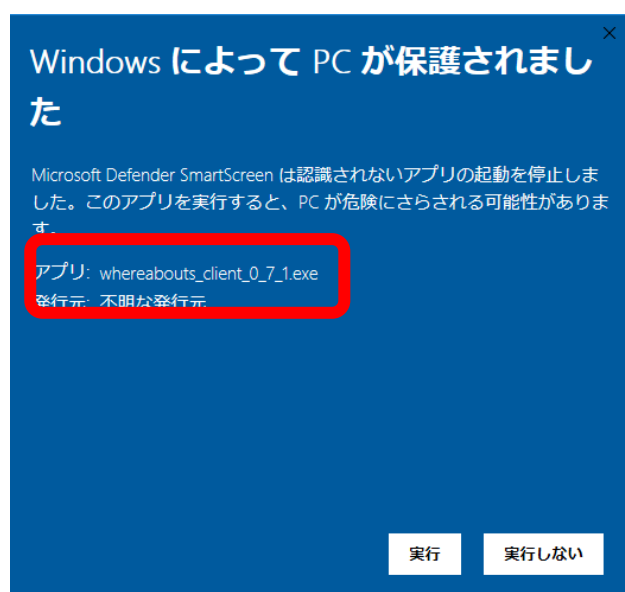
分かりやすいフォルダ（デスクトップなど）に保存します。

ブラウザの保存メッセージで警告がでるかもしれませんが、このソフトのダウンロードによるものであれば問題ありません。

2. ダウンロードした `whereabouts_client_x_x_x.exe` をダブルクリックします。

3. 「Windows によって PC が保護されました」が表示された場合、中央にある「詳細情報」をクリックして表示されたアプリ名が「`whereabouts_client_x_x_x.exe`」であれば、該当ツールなので、「実行」をクリック。

※**違う場合は、「実行しない」をクリック**して、速やかに CIT 部のウィルス感染時のマニュアルに従い作業を行うこと。

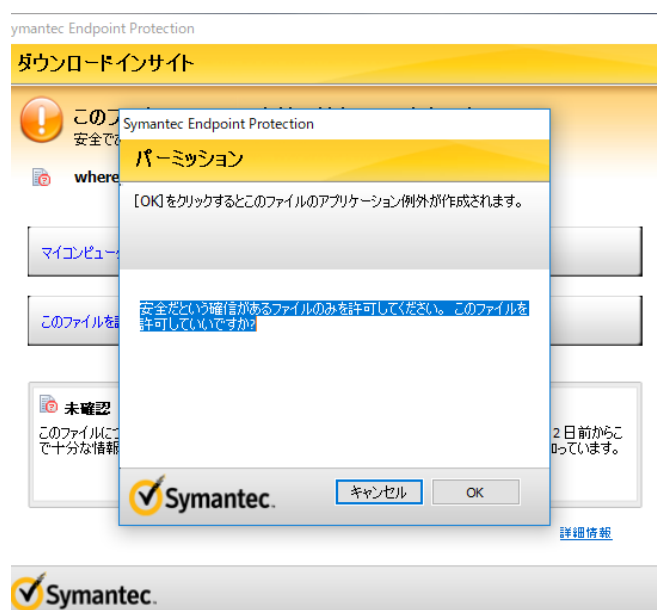


4. Symantec Endpoint Protection のダウンロードインサイトが起動するので、下図の青枠内の名前が「whereabouts_client_x_x_x.exe」であることを確認して「このファイルを許可する」をクリックします。

※**違う場合は、「実行しない」をクリック**して、速やかに CIT 部のウィルス感染時のマニュアルに従い作業を行うこと。

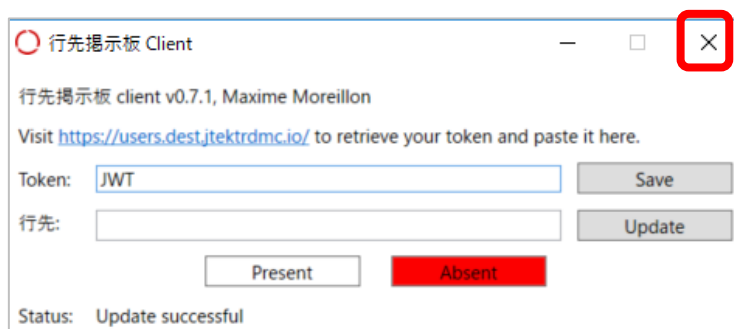


5. パーミッションウィンドウが表示されるので「OK」をクリックします。



6. 以上でセキュリティ警告のメッセージに対応完了です。

7. 行先掲示板 Client が表示されますので、右上の「×」で一旦閉じます。



8. スタートアップフォルダに移動させます。

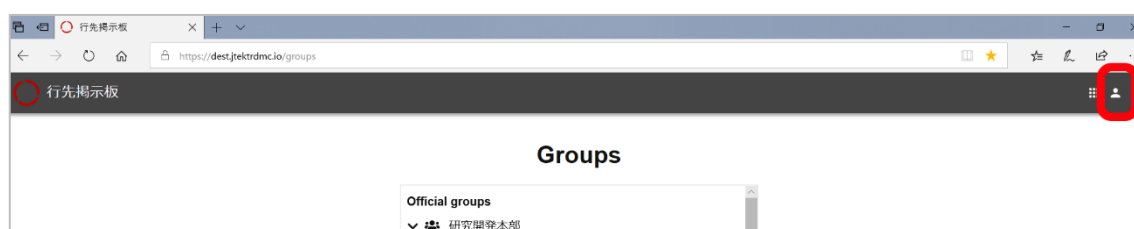
C:\Users\¥00 社員番号¥AppData\Roaming¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥Startup

キーボードの Windows マークを押しながら R キーを「ファイル名を指定して実行」が表示されるので、そちらで「shell:startup」と入力して「OK」をクリックするとスタートアップフォルダが開きます。

9. IE 以外のブラウザで行先掲示板を起動します。

<https://dest.jtektrdmc.io>

10. 行先掲示板の右上の「Account icon」をクリックします。



11. 社員プロフィール画面の「User token (JWT)」欄の文字を全部選択して（JWT の文字にカーソルを合わせて Ctrl + A で文字を全選択できます）コピーします。

[illegible]

12. スタートアップフォルダに保存した `whereabouts_client_x_x_x.exe` をダブルクリックして起動します。
13. 起動した行先掲示板 Client の「Token」の欄にある文字 JWT を削除して手順 11. でコピーした文字列を貼り付けて、「Save」をクリックします。

行先揭示板 Client

行先揭示板 client v0.7.1, Maxime Moreillon

Visit <https://users.dest.jtektrdmc.io/> to retrieve your token and paste it here.

Token:

行先:

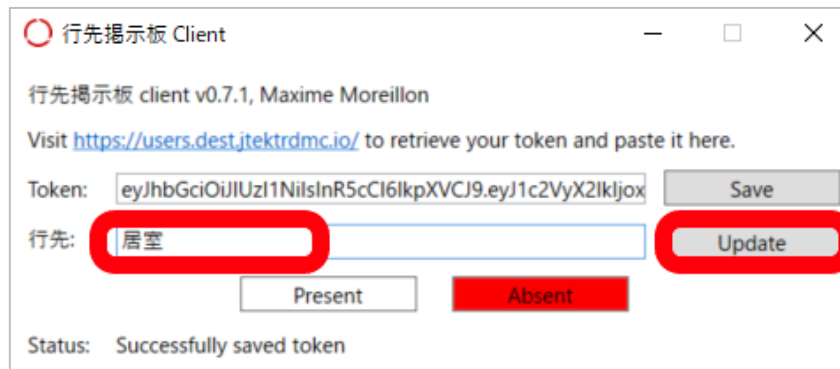
Status: Update successful

これで次回 PC 起動時に自動で行先掲示板 Client が起動されます。
以上で初期設定完了です。

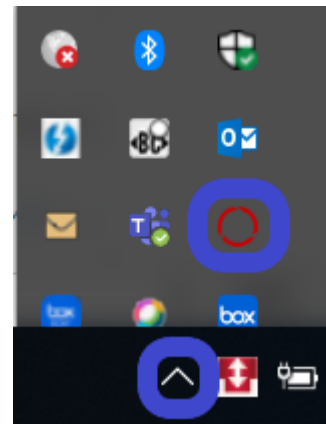
<使用手順>

1. PC 起動後、行先掲示板が起動したら、「行先」欄にブラウザ版で入力していた行先を入力して、「Update」をクリックすると行先が反映されます。

※他のユーザーがブラウザで確認した際に、ここを入力した行先が表示されます。



2. Present をクリックで出社中、Absent をクリックすると退社済みが反映されます。
3. 最小化するとインジケータに隠れますので、必要に応じてクリックすると行先掲示板 Client の画面が表示されます。



なお、PC 終了時に本アプリが自動で終了するので、その際に、Absent をクリックした際と同様に退社済みの状態が反映されます。

また、本ツールはご自身の状態を設定するツールですので、他の方の状態などはブラウザでご確認ください。